

①



②



③



383年の歴史を誇る村上大祭が7月6日(宵祭り)と7日(本祭り)に開催されました。

彫刻や漆塗り、金箔が施された勇壮で絢爛豪華なおしゃぎり19台が市内を練り歩き、大勢の観光客や市民らが、きらびやかな時代絵巻に大きな拍手を送っていました。

祭りの模様は、インターネットで生中継され、スペシャルゲストとしてアイドルグループNGT48の本間日陽さん(村上市出身)が参加し、華を添えました。

誇りと伝統の 村上大祭



①おしゃぎりが連なり多くの人でにぎわう上町通り②荒馬14騎③大八車④羽黒町のおしゃぎり⑤上町の傘鉾⑥片町の乗せ物（蘭陵王）⑦庄内町の見送り（波にうさぎ・陰陽の月）⑧⑨太鼓や鐘、笛を演奏する乗り子たち⑩帰り屋台（左：小町おしゃぎり・右：肴町おしゃぎり）⑪ちょうちんが灯りはじめる（大町おしゃぎり）⑫帰り屋台（細工町おしゃぎり）

村上大祭の由来（新潟県無形民俗文化財指定）

村上大祭は、寛永10年（1633年）に、時の村上藩主が神社（西奈彌羽黒神社）を上（城）から見下ろすのはおそれ多いとして、臥牛山がきゅうざんの中腹から現在の場所へ移されたことを記念して、大町の人たちが大八車に太鼓を積んで町じゅうを練り回したのが、始まりと伝えられています。祭りは、先太鼓・庄内町傘鉾・荒馬14騎・社名旗・四神旗・五色旗・神職・神輿三基・神馬・おしゃぎり19台と続く行列を構成。荒馬14騎は、戦国時代の村上城主本庄繁長が、庄内での戦いで勝利をおさめ凱旋したときの様子を模したものです。

